

市の委託で、団地の除草作業



ワークネットやはたは、これまで「地域でひとりの「働きたい」「地域で自

ミライのほかにわ

ワークネットやはた 管理者 松尾 浩一



発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀 俊紀
編集責任者：ほかにわ広報部



転換期

ワークネットやはたは、一般就労を目指す方や一つの居場所として安心を求めて利用されている方「作業をして工賃をたくさんもらいたい」「仲間と一緒に仕事をしたい」というそれぞれの思いを実現させるためにも事業所が存在する役割があります。

制度上難しい課題もありますが、作業班の中でも分離して考える必要があります。一つは作業集中型。もう一つは生きがいの作業。そして、利用者の年齢構成、障害の程度に合わせた班編成やサービスの検討。新しい作業種目の開拓が必要であり、下請け作業をいつまで継続できるかという不安もあります。

ワークでは、4月から給食班を立ち上げ、利用者も含めて事業内の給食運営を行っています。作るだけが仕事ではなく、皿を並べる、机を拭く、皿洗いなどたくさんあります。

今後も事業所内の安定した給食を提供し、今後は法人内の給食や地域に向けて展開できればと考えています。

主任 松尾 浩道



みんなの、「出来たよ」

多田 浩志さん
紙加工班で、箱折りの検品が出来るようになります。いろいろな作業をしています。



真剣な眼差し

坂本 優太さん
被服班の洗い作業を一人で任せられるようになり頼もしい存在です。



時間を見ながら洗いをします



苗を潰さないように丁寧に

宮本 克吉さん
園芸班で、花の移植の仕方を覚えしました。移植をする時間が楽しいと言われています。



コーンポタージュ作り

大村 航太さん
調理班では、一人で汁物を作るようになりました。次の目標は、副菜作りを頑張ります。

日本の言葉と文字 2

藤本 元

3. カタカナ

同じく46文字で構成され、主に外来語や外来の固有名詞、または強調や特定の概念を示すために使われます。

カタカナの発展

ひらがなの発展と同じ時期に、僧侶や学者たちは、漢字の一部を取って簡略化したカタカナを生み出しました。

は主に仏典の注釈や、漢文の読み下しに使用され、その後、外来語や外来文化の表記に広く使われるようになりました。創世8月の講座でシュメール文字から出来たとならったが、日本に里帰りして神代文字「カタカムナ」と交わり出来た文字では？



<https://www.youtube.com/watch?v=ncPy9lJf9CI>

仮名の種類とその発展

仮名文字は、その使用目的や形態に応じていくつかの種類に分類されます。

男手(おのこで)：楷書や行書で書かれた万葉仮名を指し、平安時代以降、このように書かれた仮名は「男手」と呼ばれるようになりました。

草仮名(そうがな)：平安時代には仮名を草書で書くようになり、これを草仮名と呼びます。草仮名は、平仮名の前身とも言えるもので、特に女性の間で広まりました。

女手(おんなで)：草仮名をさらに簡略にしたのが女手で、現代のひらがなに繋がります。平安時代には、女手は優美な仮名書として高く評価されました。

変体仮名(へんたいがな)：明治時代以降、仮名は平仮名、片仮名、変体仮名に分類されるようになりました。変体仮名は、義務教育では扱われませんが、書道などの芸術分野では依然として重要な役割を果たしています。

日本風の書と仮名の芸術

仮名の書は、平安時代において日本独自の美学として発展しました。特に、ひらがなとカタカナの書は、極限まで簡略化された造形と流動美を追求し、散らし書きなどの手法で全体の構成美を高めています。近年では、仮名の書の伝統を受け継ぎつつ、さらに新しい表現方法が模索されています。

漢字が日本に伝来した当初、言語としての日本語にはまだ表記体系がなく、漢字は主に音を借りる形で使われました。この過程で「万葉仮名」と呼ばれる、漢字の音を用いて日本語を表記する方法が生まれました。この万葉仮名は、後にひらがなとカタカナの基礎となりました。

また、日本独自の文化や事物を表すために、漢字の意味が日本流に解釈され、訓読みが発展しました。例えば、「山」という漢字は中国語で「シャン」と発音しますが、日本語では「やま」と読みます。

遺伝学的偏見の時代では、その要因が母親にあるのではないかという疑心暗鬼の不幸。わが国でも諸外国でも続いた。しかし、一九五九年のレジュヌ・ジェロームらの染色体異常の発見は、それらを払拭した。この世界的快挙は、ダウン症の印象を大きく変格、次なるアクションへ繋がった。

こうした世界的重要な事象が、長崎からの発信として歴史に刻まれているのである。としき

ダウン症の意識改革のターニングポイントはいくつかの場面があった。ダウン症のデビューは、必ずしもプラスの印象ではなかった。ラングドン・ダウンに見た民族蔑視的な側面から、教育者たちの見たクレチニズムとモンゴリズムの分類。遺伝学と骨相学の見立てた奇形という障害児たち。

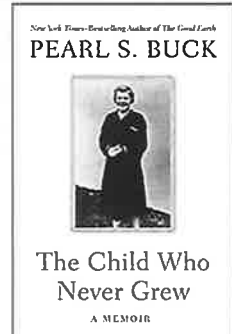
「Mortality and survival for Down syndrome in Japan」が発表された。この二つの論文は、福祉文化史の視点から、重要な知見を導き出す論述になっている。さて、論文完成の佳境に入っ

障害者福祉文化史で見る
ダウン症研究の変革ポイント

ランセットは、世界保健機構WHOへ名称改称運動の19名の世界の研究者の署名を提出したが、その中に、京都大学遺伝学者西山秀雄がいた。時を同じくして、全国にダウン症親の会、小鳩会が結成され始めた。水田善次郎助教授と中村正原爆病院小児科医師、長崎ABC所属練石昇太郎医師は、8人の母親で組織したが、長崎は被爆の街という環境が、練石の参入で被爆とダウン症児の調査がされた。実は練石と西山の関係が大学の師弟関係で、長崎の小鳩会の研究陣営は水準の高い研究チームであった。

パール・バック『母よ嘆くなかれ』

ダウン症世界の母親への名著に進化



福祉文化史の視点でパール・バックを分析

飯沼和三(K. Iinuma)は、正木論文(1981)の共同研究者12名の一人である。1984年、南アラバマ大学准教授、1985年、国立小児医療研奇形研究室室長、1994年、愛児クリニック開設。飯沼のダウン症の本は多いが、彼の著書『ダウン症は病気じゃない』は、ダウン症を新たな視点から見た研究者である。訳した原著は、アメリカのハリウッド俳優デイル・エバンス夫人による原著『Angel Unaware』である。夫妻は、は、パール・バック著『The Child Who Never Grew』に衝撃と感動を受け受けて出版した。

友は無形の財産

「朋(とも)遠方より来たる、亦(また)た楽しからずや」は、古代中国の思想書『論語』の冒頭を飾るあまりにも有名な一節であるが、八十路超えても、格安飛行機便で成田経由で東京に行く志賀は「我(とし)遠方を訪ねん、亦た楽しからずや」の心境である。この名言は、単に「久しぶりの友人と会って楽しい」という意味だけではない。本来の孔子の教えでは、「同じように学問を志す仲間が、遠いところから自分を慕って集まってくるのはなんと素晴らしいことだろう」という含蓄のある言葉なのである。その仲間とは、津曲ゼミに馳せ参じている青春を謳歌しているある程度年配の男と女たちである。

暑い夏が 始まりました！

7月28日、今年も八雲寮・デイ雲合同での納涼祭が開催されました。当日は、じっとしていても汗が流れる猛暑日となりました。開演すると、お菓子すくいや射的に千本引き、食べ物のお店ではフルーツポンチやアイスが人気でした。終盤での炭坑節やお楽しみ抽選会也大盛り上がりのうちに閉会となりました。参加された皆さんの「楽しかった」の声や笑顔が溢れる素晴らしい1日となりました。合同での納涼祭が交流の場となると同時に利用者の方の元気につながっていることを実感できる、とても貴重な時間となりました。

(下田)



祭りの奉納相撲の様子



親子交流会でゲームを楽しむ様子

納涼祭



いっぱい取らんば！



猛暑を吹き飛ばそー！

職員はほんの数名です。幸いにも開所当時から写真が存在していますので、みんなで歴史をスライドショーにて上映することにしました。

「丁さん若っ！」「丁さん男前！」段々と盛り上がりつつ、そこには利用者と職員が生き生きと笑顔で作業やレクリエーションをする姿がありました。職員の声からは「こんな作業していたんだ」「すごい時代ですね」今の自分と照らし合い、先人の教えが映し出されている様にも感じました。

何事も今だけを見るのではなく、過去を振り返りながら、未来へ向けて考えていく教訓を授かったように感じました。そして、当たり前の様にある施設ですが、敬意と感謝を抱きながら、大切に守り続けたいと思います。



織姫たちが怠け者って本当？

七夕の物語はご存じですか？意外と知らない物語を、昔ながらの紙芝居で学びました。織姫・彦星になりきり読んだ職員。姫と王子？がよほど面白かったようで笑い声が響きます。笑った後は、笹に飾られたみんなの願い事の発表！「パンが食べたい」「パン好きな人でしょうね。」「お金を貯めたい」「頑張りたい。」「腰が治りますように」…切実な願いですね。みんな大好きなプリンに、生クリームをのせて頬張り、笑顔満開です。

今年のお願い事は叶いましたか？



願い事が叶いますように！

(主任 中村要平)



歴史に触れる思い出作り

八雲寮 施設長 志賀常盤

障害者支援施設 八雲寮広報部



今後の行事

9月
お月見会10月
ほかにわ運動会

八雲寮レクリエーション2026

日頃の運動不足解消、利用者とスタッフのコミュニケーションの促進を目的として企画されました。障害の程度を考慮して全員参加できるようなゲームを準備してスタートしました。積み上げた高さを競う



村上忠さん神の1投！

「牛乳パックタワー積み上げゲーム」では、職員も一緒になり笑い声や歓声も聞かれ、利用者の方も盛り上がっている様子でした。最後の「ボール転がし点数加点ゲーム」で終了となった時点で4チームの総合点数が同点で優勝決定戦となり、ボール転がしで代表の村上忠さんが車イスからの渾身の1投で本日最高得点の100点を出し見事、逆転優勝となりました！

(福田)



がんばらんば宣言

今回ご紹介するのは・・・？



石垣光さん

いつも几帳面な石垣さん。部屋のモップ掛けやパズルが得意です。まだまだ元気に頑張ります。

じゃがいも雑感！

私が入職した二十年程前の農芸科といえば、利用者・職員を含めて二十名程と大所帯で、一時期は作付面積が最大二町程であった。

八雲寮配属の時は、農芸班の作業担当が殆どで、馬鈴薯・玉ねぎ・大蒜・イチゴ・枇杷と、様々な作物の栽培に携わってきた。

近年では、作付けから収穫までを作業班のメンバーのみで行うことが難しい状態となり、今年の四月よりワークネットやはたへ作業を完全に移行される事となった。

これからは、小規模での栽培活動となるが「作る・獲る・食べる」と、楽しみながら現メンバーの方々と頑張りたい。

にゅとじゅも

8月号 No.222



新生!! デイ雲作業班

令和八年度の作業活動はメンバーの入れ替わりも行い、作業班名も一新しての活動となっています。親しみやすく愛着の持てる活動班名にしようと、昨年度の終わりにすべての班の新しい名称を職員から募集し、投票で決定しました。

結果、手織り班は「織り〜ぶ」、木工班と花・野菜班は一つにまとまって「ウッドラボ」へ、機能訓練班は「リハビリラボ」と「スマイルトレーニング」へ変更となりました。

ウッドラボの活動を紹介すると、その名前らしく木材の加工が中心で、利用者と職員が共にいろいろな木工製品を作り上げていきます。また、花・野菜班がなくなったことで施設内外の環境整備活動にも取り組んでいます。



織り〜ぶ(手織り)班



高松 豊

リハビリラボ・スマイルトレーニング(機能訓練)班



ウッドラボ(木工)班



カフェで過ごす

優雅なひと時



7月17日、今年度最初のホーム活動を実施しました。スイーツを食べながらゆっくりと過ごそうと口之津町のカフェ「ブレイメン」へ。

自家製のバナナシフォンケーキとカフェラテを注文しましたが、とても美味しくて、食べ終わるのがもったいない程でした。お店のマスターも気さくな方で、帰る時には皆さんからまた来たいとの感想が聞かれました。

女性利用者ばかりで話もはずみ、お店を出た後は周辺をしばらくドライブして楽しいひと時を過ごすことができました。(井上)



祝 デイ雲三十歳 ～誕生祭～

昨年まで毎年6月に八雲寮と合同で行っていた収穫際にかわって、今年はデイ雲の誕生祭を行いました。

平成8年八雲寮の建物内に併設する形で、登録利用者6名でデイサービス事業を開始してから30周年を迎えました。平成22年には現在の建物が新築され、現在では登録されている利用者も児童を含めて40数名を超えるようになりました。

誕生祭ではこれまでのいろいろな写真をスライドショーで上映を行い、利用者の皆さん・職員の若い頃やたくさんの行事の写真を見ながら、懐かしい思い出に浸っていました。これまで多くの人々の関わりがあって三十年目を迎えることができたことを実感した日でもありました。最後に、自分たちの健康はもちろん、これからの事業所と法人の発展を願いました。(小山)



現在は八雲寮の短期入所を併用しながら、デイ雲に通っています。これからも頑張ります。



松尾公良さんの紹介です。平成十八年から利用されています。



雲と虹



近年は、5月に入ると気温が上昇し、春はあつという間に過ぎてしまうように感じます。6月に入ると異常気象で局地的な大雨が降り土砂災害などの発生の報道を目にします。

7月の梅雨明け後は、連日暑い日が続いている状況で熱中症のリスクも高まる為、事業所でも「警戒アラート」を確認しながら屋外での活動は極力控え、定期的な水分補給を行うことで熱中症発生のリスクを軽減できるように取り組んでいます。

利用者の方々には室内で楽しく活動が出来るよう、職員が知恵を出し合い計画を立てています。この暑さが早く過ぎ去り、屋外での活動が出来る気候になってほしいと感じています。

統括 福田 亮

行事予定9・10月

- ・BBQ 大会
- ・手作りおやつ
- ・ハロウィン

※状況により延期・中止になる場合があります。

悠炉里

地域の方も招いて

悠炉里夏祭り

池永 裕介



(自治会主催による〇×ゲーム)

今年は八月一日に悠炉里夏祭りを開催。毎年恒例となりつつある祭りですが、今年は地域の方を招いて開催することができました。回覧板でのお知らせと職員のお誘いもあって地域の方々が二十名ほど参加してくださいました。カレーや焼きそば、かき氷などの出店で楽しんでいたが、来場者全員に景品が当たる抽選会を実施しました。



8月号

(ご来場ありがとうございました)

特に悠炉里は加津佐町内にグループホームが点在しており、地域の方との関わりが大切です。清掃活動や地域の行事に参加することはありますが、悠炉里の施設に来てもらい、実際に利用者と職員の関わりを観て頂く貴重な機会になったと思います。

みんなが地域の中で生活していくには地域の方々の理解と協力が必要不可欠です。その為にも悠炉里のこと、利用者さんのことをもっと知ってほしいと思います。今回の夏祭りでは地域の方々と一緒に夏の夜の思い出が出来ました。

「地域の中の悠炉里」として今後とも行事等取り組んでいきたいです。



小G活動(長崎)

7月中旬に長崎ペンギン水族館・アミュプラザ長崎とドン・キホーテに行き、買い物を楽しみました。水族館は心地良く、ペンギンも暑さをしのんでいるようでした。長崎市内はとても暑くて人も多し、買い物も歩くのも大変でした。利用者の1名の方が体調を崩したようで少し休んでいると、通りかかった2名の方が「だいじょうぶですか？」と心配そうに声をかけてくださいました。中には見知らぬ顔をして通り過ぎる人もいますが、「なんと素晴らしい親切な人だなあ」と思い自分も心強かったです。

“感謝”の思いです。

この気持ちを忘れずに、私自身もこのような場面に遭遇したら、2名の方同様の行動をしようと思いました。引率を通じて、とても良い体験をする事ができました。



(岡部)



(水の浦教会)



(鬼岳)

今年度の小G活動は長崎県内で計画を立てており、五島に行っていました。利用者さん四名参加でしたが、そのうち二名は五島出身。上五島と下五島の違いもありましたが、五島に行けると、楽しみにされていました。

観光地である鬼岳や教会などを散策しました。

「家には橋を渡っていった」「釣りをした」「など五島にいた時の話で盛り上がりました。悠炉里には市外、県外出身の利用者さんもあります。故郷の思い出を笑顔で話す利用者さんと接し、このような機会も作っていききたいと感じました。(竹市)



(綾部三美子)

故郷、五島へ

ピックアップ

大平裕也さん



～今後の予定～

9月

・小G活動(五島2便)

・自治会活動

流しそうめん

10月

・小G活動(野母崎)

・ほかにわ秋季大運動会

悠炉里と



今回、持病を治療するため、貴重な時間を頂きました。生活パターンが一転し、不安もいっぱいある中で、そこで感じたこと。

スタッフの皆さんが、心身共に私に寄り添ってくれ、心の支えになったこと。皆さんの笑顔、言葉かけがどれだけ私にとってからの早い回復に繋がったことかと思っています。

そんな安心した時間を過ごす事で、頭によぎった言葉に、職務としての仕事でありながらも、仕事とは「志事」に置き換えてみました。何に対しても、こころざしの気持ちをもつ。相手を思いやる気持ちをもたれ、接して頂いた対応が私にとって、心身共に癒された、時間を過ごしたようでした。

そんな感謝の思いを一筆書き、スタッフの皆さんに伝える事ができ、現在復帰しています。

統括 井村一美

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 8月号

チャレンジをつづける

今年度から新たに給食班が加わり四か月が経ちました。最初は、鍋の大きさや、作る食数の多さ、食材の量に驚き、作ったことがないメニューを覚えるのに必死でした。

食材の中心温度や時間、食材の保存、消毒等、未経験の事も多く、調理員の方に助けられながら少しずつ一人で出来るようになってきました。

給食班に従事している利用者二人も、テーブル拭き、食器出し、野菜の切り込み、汁物調理、盛り付け等、出来

なかった事が、少しずつ出来る様になってきました。

携わっている私達は、利用者、職員の方が「美味しかった」と言われた瞬間が一番嬉しくて利用者の方と一緒に、毎日学びながら成長出来ていると思います。

工夫しながら難しい事が出来るようになった時の達成感を忘れずに、利用者の方と共にチャレンジしていきたいと思っています。

(古賀 清美)



給食の時間は笑顔もこぼれます♪



人気のメニュー

1位



唐揚げ

2位



ラーメン

3位



とんかつ



安心・安全を第一に

公用車は、月に一度担当職員が責任をもって点検しています。チェックする箇所は沢山ありますが、毎回チェック漏れがないように何度も見直しを行います。

特に重要なのがエンジンオイルと、電気系統です。エンジンオイルは走行距離に応じて交換を行います。ヘッドライトやブレーキランプ、ウィンカー等は、故障や異常が見つかった場合は整備工場に連絡して修理してもらいます。

最近では、送迎車事故のニュースを耳にする事が多く、胸が痛みます。これからも、気を引き締めて職員一人ひとりが安全な運転を心掛けたいと思います。

(小笠原)



利用者の方が乗車される様子



出火場所で避難場所も違って来る事を説明

落ち着いて行動を：

六月二十七日、事業所全体で、避難訓練を実施しました。今回は、厨房のガス台から出火した想定で訓練を行い、職員の指示に従って、利用者の方は、落ち着いて避難する事が出来ていました。

避難後は、避難時の注意点や行動について説明を行い、皆さん真剣に耳を傾けていました。

災害は、いつ発生するかわかりません。有事の際に、正しい判断や、行動が出来るように、訓練を重ねて落ち着いて、安全に避難が出来るように、日頃から訓練に取り組んでいく事が大切だと思います。

七月二十八日

熊本地震、震度七

「対岸の火事ではない」

(井上)



ワークネットやはた 今日のこの人

今回、紹介するのは

「池田 香菜さん」です。

Q好きな食べ物は何ですか？

「ハンバーグ、唐揚げ、オムライスが大好きです」

Q趣味は何ですか？

「折り紙と、塗り絵です」

Q将来の夢は？

「一人暮らしです。自立できるように、出来る事は自分でしています」

被服班で、たたみ作業を頑張っている香菜さん。夢に近づけるように職員一同サポートしていきます。



散歩道

最近、障害福祉サービス事業所による不正受給に関するニュースを目にする機会がありました。一部の事業所による出来事ではありますが、このような報道が続くと、福祉業界全体に対して不安や疑問を感じる方もいるのではないのでしょうか。

だからこそ、私たちは日々の積み重ねが何より大切だと感じています。利用者の皆さんやご家族、地域の皆さまとの信頼関係は、一つひとつの誠実な支援の蓄積から生まれるものです。

これからも当たり前のことを当たり前に、安心して利用していただける事業所であり続けたいと思います。

事務次長 酒井 亮裕



鮎帰りの滝にて 水しぶきに涼を感じました

朝の過ごし方変わりました

毎朝8時を過ぎると、続々と利用者の皆さんが柿の木へ通所してこられます。作業開始は9時。それまでの時間はバイタルをして散歩という日課でしたが、この夏の8時はもう一気に気温が上がり、とにかく暑い。そのため、室内での活動に切り替え、曜日ごとに口腔・柔軟体操をする日、文字の練習などする日と分け取り組んでいます。これが利用者の皆さんにも大好評！時代や環境の変化に柔軟に

対応する力は、本当に苦慮するものですが必要な力と改めて思いました。(恵理)



見よ！この集中力！！



池田政翔さん

よろしくお願いします

ようこそ柿の木へ☆



←デイ雲柿の木Instagram



売店(これ波これ和) 情報が充実♪

これ波これ和からのお知らせ

新発売!

タマゴサンド・カツサンド
食べてみてくださいね～

こし水は、くれお

夏だ!!

みんなで取り組む感染症防止

「手洗い」は、たいへん有効で、だれでもできる感染症予防対策のひとつですが、正しい手洗いがされなければ、その効果は、充分に発揮されません。

そこで、私たちは、感染リスク防止を目的として、利用者と職員合同の研修会を実施しました。



みんなで学べば楽しいですね



石川智広画伯作『野球』



頑張ってま～す

今年の夏休み放デイの子どもたちが
作ったり収穫したりした物です



ポーチを作りたいな!



飛行機を作ったよ



赤紫蘇を大量にゲット



コロコロいもむしが出来たよ

言の葉

9月の行事

- 8日 市民プール※
(生活介護)
- 9日 避難訓練
防災運動デー
- 16日 弁当の日
※印は参加費あり

今年も長い夏となり、あつという間に夏休みにも入りました。夏休みと言えば、近所の公園に走っていき、ラジオ体操に参加。そして帰った後にはブラックモンブランを食べてもう一度寝る。というのが私の夏休みの記憶です。

当時は、「学童保育」というものがありはしたのですが、私の周りに利用している子は一人もおらず、友達の家遊びに行くか、それとも学校で開放されているプールに友達と行くか、といった過ごし方をしてきたように記憶しています。

現代で学童保育は、子を持つ親が安心して働くことを可能にする大事な事業です。一方で、日本が物騒になったという証ですが、日本に暮らす私たちの考えに変化が生じたただけなのでしょうか。昔より少し過敏になりすぎているような気がします。

今年も不審者訓練を行う自分は、柿の木を利用しているご本人やご家族が、安心して利用することができるよう環境作りを目指しています

(恵理)

特集

ほかにわのいいところ♪

理念

法人行事

- ・9月中旬 理事会
- ・10月10日(土) ほかにわ 秋季大運動会
- ・11月7日(土) 神社祭

ほかにわのOnly Oneの言葉

ほかにわのONLY ONEの挑戦

① 共汗共育

一緒に作業や行事に参加して準備に汗を流し収穫した物を一緒に味わい、共に体を動かして同じ目標を達成する喜びを感じることが素晴らしい



② 地域共生

法人のある権田地区の除草作業に加津佐町内のゴミ拾いや夏越し祭り・九州オムレに参加し地域の方々と交流が出来る。それに加え神社祭で大勢の人を招き、福祉に対する理解を深めようとしている。



③ 終生拡大家族構想

「悠炉里」が開所した当初、障がい者施設という事で嫌な目で見られ、人に害を与えるのではないかと言われもした。



長い年月の中で少しずつ利用者の頑張る姿を見てもらい、今では地域の方が高齢になって、除草作業を利用者の方が手伝っている。地域の方々からいはいけない存在だと感謝されている。

④ 水流穴満

家族の面会や広報誌にInstagram投稿などを駆使して家族へは安心を提供し、他法人へは情報の発信を行っている。これらを継続する事で福祉への理解と地域の中での生活を通して障害への理解を深めていく。



⑤ 3安プラス1安

安心、安全、安定、そして安価。何に対しても物価高騰している中で、質が落ちないようにとQC活動を通じて、工夫してサービスを提供している。目配りや気配りの気持ちを忘れないような支援が行われている。



⑥ 至誠通天

誠をもってことにあたれば神に通じるという理念のもと、職員ひとりひとりが利用者さんに寄り添う支援を心がけている。誠意をもって向き合うことで必ず道は開けてくる。出来る事は行い解らないことは恥ずかしがらずに聞くという気持ちを持って支援に取り組んでいく。自己研鑽も怠らず、学ぶ姿勢を大切にしている



令和7年度 決算報告

【社会福祉法人ほかにわ共和国】



【資金収支計算書の要旨】

科目	金額(千円)
事業活動収入	584,329
事業活動支出	591,824
事業活動資金収支差額	△ 7,495
施設整備等収入	200
施設整備等支出	17,234
施設整備等資金収支差額	△ 17,034
その他の活動収入	0
その他の活動支出	1,223
その他の活動資金収支差額	△ 1,223
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	△ 25,752
前期末支払資金残高	579,687
当期末支払資金残高	553,935

【事業活動計算書の要旨】

科目	金額(千円)
サービス活動収益	572,505
サービス活動費用	615,321
サービス活動増減差額	△ 42,816
サービス活動外収益	11,824
サービス活動外費用	10,255
サービス活動外増減差額	1,569
経常増減差額	△ 41,247
特別収益	200
特別費用	4,392
特別増減差額	△ 4,192
当期活動増減差額	△ 45,439
前期繰越活動増減差額	928,129
当期末繰越活動増減差額	882,690
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	882,690

【貸借対照表の要旨】

科目	金額(千円)
資産の部	
流動資産	585,714
固定資産	586,328
(基本財産)	419,747
(その他の固定資産)	166,581
資産の部合計	1,172,042
負債の部	
流動負債	56,107
固定負債	38,127
負債の部合計	94,234
純資産の部	
基本金	5,559
国庫補助金等特別積立	87,059
その他の積立金	102,500
次期繰越活動増減差額	882,690
純資産の部合計	1,077,808
負債及び純資産の部合計	1,172,042

自分自身の課題や目標に向き合い、小さな一歩でも前に進もうとする姿勢を大切にするという思いを込めた言葉です。介護の現場では毎日が同じではなく、戸惑いや迷いを感じることもあります。それでも、利用者様のために考え、行動し、学び続けることが挑戦だと考えています。出来ることを少しずつ増やし、失敗や経験も成長に繋げながら自分らしい形で介護と向き合っていく一年にしていきたいと思っています。

デイ雲柿の木 城谷七海

マイブーム

世界中が熱狂したFIFAサッカードワールドカップが終了しましたが、みなさんは日本プロ野球に興味はありますか？

永野家ではTVでナイター中継があるこの時期、夕飯を食べながら家族で野球観戦をしています。

ちなみに我が家は、大の阪神ファン！ホームランや点数が入ると、母は手を叩いて大盛り上がり！とても賑やかな時間です。

今年こそは日本一を目指して、打倒！！ソフトバンクホークス。我々の応援にも力が入ります！！フレール！フレール！タイガース！これが私のマイブームです。

デイ雲 永野やよ

スタッフ 募集！

一緒に働いてくれる方
お待ちしております
✉ hokaniwa@isis.ocn.ne.jp
☎ (0957)87-2464 担当:酒井



ほかにわ共和国の
Instagram
はじめました！